

令和5年9月21日

植田地区

医療・介護関係者 各位

大分市連合医師会 在宅医療部 代表 木下 昭生  
植田地域包括支援センター センター長 松本 あゆみ  
植田西地域包括支援センター センター長 吉良 早苗  
植田南地域包括支援センター センター長 中村 海斗  
植田東地域包括支援センター センター長 高山 智恵子

(植田、植田西、植田南、植田東地域包括支援センター)

令和5年度 植田4圏域合同 地域連携検討会の開催について(ご案内)

秋晴の候、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より在宅医療・介護連携推進事業並びに地域包括支援センター業務にご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、植田西地域包括支援センターと大分市連合医師会は、圏域の在宅医療・介護連携の現状を把握し、課題の抽出とその対応策等を検討するため、毎年、医療・介護関係者等が参画する地域連携検討会を共同で開催しており、本年度は植田地区にあります4つの地域包括支援センター(植田、植田西、植田南、植田東)と合同で下記のとおり開催いたします。

つきましては、圏域内の皆様の相互理解とネットワークづくりの機会としてもご活用いただければと考えておりますので、ご多用中とは存じますが、多くの専門職種の方々のご参加をお願い申し上げます。

なお、今年度より会場開催を再開いたします。感染症対策につきましては、各自のご判断でお願いいたします。

参加を希望される方は、10月12日(木)までにFAXにてお申込みください。ご不明な点がございましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

記

- |           |   |             |
|-----------|---|-------------|
| 1 日 時     | 令和5年10月20日(金)   | 18:45~20:00 |
| 2 会 場     | 植田市民行政センター  | 大会議室        |
| 3 対 象     | 医師、歯科医師、薬剤師、看護師、相談員、介護支援専門員、栄養士、歯科衛生士、リハビリ職、ホームヘルパー、その他 医療機関・介護事業所関係者 |             |
| 4 内 容     | 「救急搬送からの在宅医療・介護～退院時の連携を考える～」<br>詳細は同封のチラシをご覧ください。                     |             |
| 5 植 田 地 区 | 別紙「植田地区開催圏域一覧」をご確認ください。   |             |

【お問い合わせ先】

大分市連合医師会 在宅医療部  
大分市在宅医療・介護連携支援センター  
担当：出納(すいどう)・岩本  
TEL：097-529-7851

植田地区開催圏域一覧

植田地域包括支援センター圏域

植 田	植田中学校区	植 田 小	雄城台 雄城台中央 木上台 萌葱台 大字市 大字木上 大字口戸 大字高瀬(露) 大字玉沢 大字廻栖野 (胡麻鶴、塚野)
		宗 方 小	上宗方 椿ヶ丘 上宗方南 松が丘 宗方台北 宗方台西 宗方台東 大字上宗方(上宗方) 大字下宗方(下宗方)
	植田南中学校区	東植田小	大字下宗方(八幡田)

植田西地域包括支援センター圏域

植田西	植田西中学校区	横 瀬 小	桜ヒルズ 富士見が丘西 富士見が丘東 大字横瀬(下横瀬)
		横瀬西小	緑ヶ丘 大字鬼崎 大字横瀬(上横瀬)
		宗 方 小	大字小野鶴(小野鶴市営住宅、上小野鶴、下小野鶴)
		植 田 小	小野鶴新町 小野鶴南 大字田原(田原、田原住宅、小野鶴新町) 大字小野鶴(小野鶴新町)

植田南地域包括支援センター圏域

植田南	植田南中学校区	東植田小	グランビュー光吉 小原団地 天領ハイツ ふじが丘北 ふじが丘西(501~517番) ふじが丘東 光吉新町 光吉台 大字田尻の一部(森津、下田尻地区) 大字光吉(光吉) グランヒル植 田南
		田 尻 小	田尻北 田尻中央 田尻西 田尻東 田尻南1・2丁目 ふじが丘西(501~517番を除く) ふじが丘南 ふじが丘山手 大字岡川(秋岡、石川、蕨野) 大字上判田(石川) 大字高瀬(岡、高 城、仲村) 大字田尻の一部(井ノ本、中園、畑田地区)

植田東地域包括支援センター圏域

植田東	植田東中学校区	敷 戸 小	敷戸北町 敷戸西町 敷戸東町 敷戸南町 敷戸台 星和台 芳河原 芳河原台 曲9組~11組
		鴛 野 小	大園団地 坂詰団地 サンシャインしきど 敷戸駅北町 敷戸新町 寒 田田園町 高江ハイツ 旦那原ハイツ西区・東区 東木団地 花の木坂 大字鴛野 (鴛野、敷戸) 大字寒田(鴛野、敷戸) 大字旦那原(大分大学、敷戸) 大字宮崎(鴛野)
		寒 田 小	美し野1・2丁目 サントピア西寒多 サントピア藤美園 寒田御苑 寒田ささむた苑 寒田南町 光吉御苑 大字鴛野(旦那原) 大字寒田 (寒田、旦那原) 大字旦那原(旦那原)
	植田南中学校区	寒 田 小	スカイタウン寒田 寒田北町 寒田西町 寒田わかば台 宮崎台 大字寒田(小原) 大字曲(宮崎) 大字光吉(小原) 大字宮崎(小原、 宮崎)

## 令和5年度 植田4圏域合同 地域連携検討会 申込書

### 1 所属機関・所属事業所

名称： \_\_\_\_\_

TEL： \_\_\_\_\_ FAX： \_\_\_\_\_

### 2 参加者

氏名	職種

【当日のご案内】 連絡先： 070-2336-1357 (大分市 在宅医療・介護連携支援センター)  
会場： 植田市民行政センター 大会議室  
日時： 令和5年10月20日(金) 18:45～20:00

会場で 皆さまのお越しをお待ちしております。  
(大分市在宅医療・介護連携支援センター、植田地区地域包括支援センター)

# 植田4圏域合同 地域連携検討会

地域包括支援センターと大分市連合医師会は、圏域の在宅医療・介護連携の現状を把握し、課題の抽出とその解決策等を検討するため、医療・介護関係者等が参画する「地域連携検討会」を共同で開催しています。

## 救急搬送からの在宅医療・介護 ～退院時の連携を考える～

救急搬送され健康状態に大きな変化が生じ、以前のような生活が送れなくなった方の退院支援について、考えたいと思います。

医療機関の現状を共有したうえで、個々の患者・利用者の身体状態や環境に合わせた病院から在宅（自宅や施設）への速やかな移行とするために、同職種・多職種・他事業所間でどのような情報共有や協力などの連携ができるか話し合います。

患者・利用者への柔軟な対応につながればと思っておりますので、ぜひご参加ください。

**日 時：令和5年10月20日(金) 18:45～20:00**  
(受付開始 18:00)

**内 容：**①発表・事例紹介  
発 表：アルメイダ病院 医療連携室 医療ソーシャルワーカー 山本 琢也 氏  
事例紹介：植田地域包括支援センター センター長 松本 あゆみ 氏  
②グループワーク

**開催場所：植田市民行政センター 大会議室**

**申し込み：別紙申込用紙にてお申し込みください。 締切 10/12**

今年度は4年ぶりに会場での顔を会わせての開催となります！

他圏域でも会場での検討会開催を行っておりますが、参加者からは「直接会えてよかった」というご感想を多数いただいております。

検討会前後も含めて顔の見える関係づくりの場として、ご活用いただければと思います。



植田地域包括支援センター  
植田西地域包括支援センター  
植田南地域包括支援センター  
植田東地域包括支援センター  
大分市在宅医療・介護連携支援センター  
<大分市連合医師会在宅医療部>

お問い合わせ・お申込み先  
大分市在宅医療・介護連携支援センター  
TEL:097-529-7851 FAX:097-529-7872  
E-Mail : zaitaku@oitamd.com  
<https://oita-renkeishien.jp>

昨年度の検討会で参加者からいただいたご意見です。



## 植田、植田西圏域 地域連携検討会

R4 検討会テーマ 「どうする!? 8050問題 ～子供との関わり方～」

### 8050問題の子供と関わる際に問題となること

#### ●子供への支援

- ・就労につながらなかったり、障害者手帳を申請されていなかったりサービス支援に結びつかない。
- ・娘との関係を優先しながら動くなど、支援の方向性を考え直すことが必要だが、親の疾患のことで急ぎがち。
- ・仕事を辞めて両親を1人で介護されている。ご両親やサービス支援者がストレスのはげ口になっている。

#### ●困りごととっていない・拒否

- ・こちらから見ると困りごとと思うことも、本人・家族は困りごとだと思っていない。
- ・統合失調症で閉じこもっている子供は多い。親の不安は募っているが、何か起こっている訳でもなく困りごとが発生していない。
- ・本人が相談したくても精神疾患の子供が拒否しているためにサービスにつながらないことが増えてきている。

#### ●金銭的問題

- ・親御さんの今後の生活を考えた時に、精神疾患の子供を置いていくのも不安がある。自分の年金だけでは使いたい支援が使えないなど今後どのようにしていったらいいかなど金銭面の問題が明るみに出てくる。
- ・精神的な病気だとか、また、特に経済的な問題がからんでくると、支援者側が口を出しにくいところがある。

#### ●キーパーソンの問題

- ・子供がキーパーソンになりえない場合、義理の関係でも協力を得るなど親族のすそ野を広げないと難しい。
- ・精神疾患の方以外に家族がおらずキーパーソンになる場合、どこまでキーパーソンの意思を尊重するのか。

#### ●その他

- ・娘の問題と父親の問題がごっちゃになっていて、これが8050問題の現状だと改めて思った。
- ・コロナ禍で誰に相談すればいいのかなど、「相談しない」ではなく「相談しづらい状況」が続いていると感じる。
- ・埋もれて苦しい思いをされている方々が多いだろうと思うので、そういう方々を支援していくのも大きな課題。

### テーマ「子供との関わり方」について

- ・時間はかかるが、子供世代の声を聞き信頼関係を構築していくことが重要。しかし親世代の疾患の進行との兼ね合いもあり急がないといけないこともあり難しい。早い段階で関わりを持ち、働きかけていく事が大切。

### 検討したことで、必要・できるといい事

- ・相談支援窓口や、年金等の制度など活用できる情報を整理できると、専門職も分かりやすい。

個々の事例によって対応が異なるため、答えとなるものはない。経験年数のある包括職員やケアマネジャーでも8050問題に関わったことがない方もいる。参加者が多くの事例を共有することで、個々の事例に合わせた対応に役立つよう引き出しを増やしていただく場になったのであれば幸いです。



昨年度の検討会で参加者からいただいたご意見です。



## 植田南、植田東圏域 地域連携検討会

### R4 検討会テーマ 「多職種間のズレを乗り越えるために～ACP(人生会議)を通じて考える～」

#### 1 「多職種間のズレを乗り越えるために ～ACP(人生会議)を通じて考える～」

##### ● 立場の違いによるズレ

###### ① 医療と介護の立場での違い

- ・入院時に在宅と病院の立場にズレを強く感じる。自宅で最後までという本人の気持ちを汲んであげたいが 病院側の安心、安全に退院してほしい考えも分かり、病院側に強く言えない。身寄りがいない方については強く感じる。
- ・医療職の医療優先の立場と、ケアマネの生活やその方の思い優先の違い。

###### ② 同じ職種の立場の違いによる違い

- ・訪問介護と通所介護の職員、訪問看護と通所サービスの看護師の考え方の違い。同じ職種でも立場が違ふことで意見や方法に差があり調整が必要なおことがある。
- ・医者同士、看護師同士の同じ職種でも立つ位置が違ふと考えも違ふ。病院は治すこと帰すことに重きが置かれていて、在宅では帰った後のことや帰れるのかという話になってくる。その辺でもかなりズレがあり調整するのは難しい。
- ・事業所間、施設間でズレは多い、その人との関わりで上手いかないことは多い。

##### ● 個々の認識の少しずつのズレ

- ・職種ごとに方向性は一緒でもたどり着く場所が若干ズレていることがある。
- ・薬剤師と専門職の思う評価に相違があり、評価の仕方にズレがあるのではないかと感じます。
- ・薬剤師は情報不足のためズレにつながっていると感じることはある。

#### 2. 多職種の考え方や視点の違い生かすために、多職種間で必要と思うことは？

##### ● 話し合いの場

- ・多職種間で話し合える、情報交換できる場があるといいと思う。
- ・違ふ職種と意見の違いはあるが意見をいいあって話して解決している。

##### ● ズレを解消するために必要な視点

- ・ゴールは同じ方向を向いているので、どこに到着するのかというところを話す。その中で本人・家族の意見に沿うために一番いい方法を皆で話し合っていく環境を作ることが大切。
- ・関わるときにきちんと伝わっているかどうか、それぞれの思いを考えないといけない。
- ・意見が合わない時は双方の話を聞き、できるだけ本人の意向に沿うようにする。
- ・職種の考え方は、受けてきた教育や、実践してきた内容で違ふが、得手不得手をとるところをそれぞれ認め合い、補完し合いながら最終的に患者・利用者の幸せ、家族の幸せ、ハッピーエンドを願う。

##### ● 情報の共有

- ・職種間の会話などのちょっとした意見交換で意外な発見につながることもある。
- ・関係する職種の方から日々の状況とかつぶやきを収集する、フィードバックをしてもらう関係性をつくる。多職種の方からいただいた情報を皆で共有するところから入っていければと思っている。

#### ズレを解消するのに難しい部分

- ・医師、訪問看護師、施設職員の考えが少しずつ違ふと、理解や調整、どこでまとめるかが難しい。
- ・責任感の強い方ほど、強い提案がある。意見が一致しない時に折衷案をとるのか合わせるのか悩む。

日々の情報共有などコミュニケーションの際に、「相手にきちんと伝える」「お互いに求めていることを理解する」ことを意識してもらえればと思います。



植田南地域包括支援センター、植田東地域包括支援センター